

# ふみびと

第296号  
発行所  
文通村事務局  
編集 広報部  
千葉県成田市

## 自分の色塗る 日々に余白を

### お互い様

昔山奥で車のタイヤがパンクして立ち往生してしまい、電話で助けを呼ぶこともできなかった時のこと。

車の通りもほとんどない中、たった一台たまたま通った車に乗った男性が車を降りて「どうかしましたか」と声をかけてくださいました。

その男性が車に詳しくかつたこともあり、スペアタイヤに替えていただき、なんとか車を動かすことができましたようになったの

で、帰ったらお礼がしたいと申し出たのですが男性がひと言。

「お互い様だから」その言葉だけ残して何事もなかったように去っていかれました。

山奥で見ず知らずの人に、車を降りて声をかけるといのはきつと誰にでもできることではないこと。もしかしたら困っているのかもしれないと思っても、それを行動に移すことは、思っている以上に重い一歩のように

思います。

それでもその一歩をこちらに向けてくださったことに感銘を受けて、今度困っている人がいたら自分が手を差し伸べようと思い、車の応急処置ができるように勉強するようになりました。

もしあの時助けてもらわなかったら、なんの見返りも求めない、人の優しさに出会わなかったら、もしかしたら自分も一歩



### 集中とゆとり

春は穏やかで過ごしやすい季節だ。思う存分この時期を味わいた

いと思うのに、いろいろな用事が重なるのもこの時期。あれもしなきゃこれもしなきゃと気持ちばかりがせいて、なかなか気持ち

ちが落ち着かない。せっかくの季節なのにとますます心がざわめいてしまう。そんな時は今やっつい

ることに徹底的に集中してみる。

全てじゃなくていい。今だけと決めて、丁寧すぎるくらい丁寧に作業をしてみる。たとえばメモを取る時、字を丁寧に書くのはもちろん、ペンの先が紙に触れる感触、

紙の上を走る微かな音、ペンの質感、わずかにインクが滲む様子。そういった全てに心を澄ませてみる。時間にすればほんのわずかなのだけれど、そうやって集中するだけでずいぶん気持ち

ち着くのだ。そうやって少しだけ心の余白で、しっかりと春を味わえたらと思う。

### 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第...。送り方は簡単。下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あ返信筒にの始まるのは、事務局宛に封下まで交流ありません。



### お知らせ

5月の発送日

次回は5月16日(月)の発送です。その場合、3日前の13日(金)が締切日となります。送りたいお手紙がある場合は余裕をもってお手紙をお送りください。

### 5月の発送日

5月だけ発送週が変わります。5月のMによる祝日が多いため例外的に第3、第5月曜日に発送を行う予定です。これにより、お手紙を書くりズムが崩れにくくなるのではないかと思います。ご理解頂

